

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名					事業期間	昭和44年度 ～ 年度												
事業性質区分					新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画の位置付け	6-2-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	所管課係	市長公室課協働推進係	
目的 (何のために実施するのか)					地域住民同士のコミュニティ形成を図る場を確保するため。							手段 (どのような方法で実現するのか)		会館又は集会所を建設等をしようとする町内で組織する団体は、建設予定年の前年11月30日までに補助金交付申請書を市へ提出し、その申請により基準に該当したときは限度額の範囲内で補助し、完了届のあと検定してから交付。				
対象 (誰・何を対象としているのか)					会館又は集会所を建設、修繕、解体等をしようとする町内で組織する団体							成果 (どのような効果が得られるのか)		会館又は集会所を整備にかかる費用負担が軽減、維持管理費の削減によりコミュニティ活動の活発化が期待できる。				
事業開始時の状況・これまでの経緯					昭和44年12月から事業を実施。補助率は、事業実施当初 1/3だったものを昭和60年1月から 1/2、平成8年1月からは 2/3に引き上げている。平成16年度行革の際、補助率2/3は維持したが、工事費の増大傾向と近隣状況を考慮して補助上限額を設定。平成25年より消防用設備の点検費用について補助率10/10の補助を開始。令和2年度より施設の老朽化等によりやむを得ず会館の解体を行う場合の費用補助（補助率10/10）を開始。令和3年度に総務課庶務係より市長公室課協働推進係に事務移管された。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
投入された事業費の推移	国 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	そ の 他	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	一 般 財 源	計 画 額	953,000	953,000	953,000	2,859,000	1,098,000	1,098,000	1,098,000	3,294,000	1,098,000	1,098,000	1,098,000	1,098,000	4,392,000	10,545,000
		予算計上額	953,000	172,000	2,681,000	3,806,000	1,098,000	73,000	1,399,000	2,570,000					0	6,376,000
		実 績 額	1,175,598	639,649	2,937,994	4,753,241	1,149,866	72,700		1,222,566					0	5,975,807
	事業費合計	計 画 額	953,000	953,000	953,000	2,859,000	1,098,000	1,098,000	1,098,000	3,294,000	1,098,000	1,098,000	1,098,000	1,098,000	4,392,000	10,545,000
		予算計上額	953,000	172,000	2,681,000	3,806,000	1,098,000	73,000	1,399,000	2,570,000	0	0	0	0	0	6,376,000
		実 績 額	1,175,598	639,649	2,937,994	4,753,241	1,149,866	72,700	0	1,222,566	0	0	0	0	0	5,975,807
	事業費予算の内容		修繕 2件 905,409円 消防用設備点検 3件 47,256円	修繕 2件 124,593円 消防用設備点検 3件 47,256円	修繕 6件 2,613,342円 消防用設備点検 4件 67,056円		修繕 1件 1,026,666円 消防用設備点検 4件 70,400円	消防設備点検4 件 72,700円	解体 1件 1,102,400円 修繕 1件 217,066円 消防設備点検 4件 79,300円							
	前年度予算との比較 (増減理由)		解体工事件数が減少したため予算額は減少した。	修繕工事の規模が小さくなったため予算額は減少した。	修繕・消防用設備点検ともに、実施予定の会館が増加したため。		修繕工事の件数が減少したため予算額は減少した。	修繕工事の件数が減少したため予算額は減少した。	解体工事及び修繕工事の件数が増加したため予算額は増加した。							
	実績との比較 (増減理由)		急を要する修繕が年度途中で2件発生したため実績額が当初予算額を上回った。	急を要する修繕が年度途中で1件発生したため実績額が当初予算額を上回った。	急を要する修繕が年度途中で3件発生したため実績額が当初予算額を上回った。		急を要する修繕が1件発生したため実績額が当初予算額を上回った。	予算額同額								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：交付件数	指標の求め方：1年間の交付件数
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：事業に対する満足度	指標の求め方：事業完了後の会館等使用再開時における事業に対する満足度（５段階評価中、大変良い、良いの回答を得た割合）

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画	
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計		
事業 評価	指標	活動指標1 (単位/件)	計画値 5	5	5		5	5	5		5	5	5	5			
		実績値 7	6	11		6	4										
	成果指標1 (単位/%)	計画値 80	80	80		80	80	80		80	80	80	80				
		実績値 100	83	82		100	100										
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					ほぼ達成されている				ほぼ達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっていない				変わらない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					上がっていない				変わらない						
		総合評価					普通である				良好である						
			総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 活動指標、成果指標による実績値は共に計画値を上回っている。地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。また、事業について理解が進み、問い合わせも増えていることから、会館の維持管理についての意識が向上していると考えられる。	自己分析： 前年度に比べ、活動指標、成果指標による実績値は共に減少したが、計画値を上回っている。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	自己分析： 交付件数については昨年度より増加し、活動指標は目標値を達成した。事業に対する満足度については昨年度より減少したが、成果指標は目標値を達成した。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	判断理由： 地域コミュニティ形成の場である町内会館の建設等に対し補助することは町内会活動の支援につながる事業であり、町内会が必要に応じて補助申請を行うことから、3・4年度の実績としては一定の効果があったものと考えられるため「普通である」と判断した。	自己分析： 前年度と比較し交付件数については減少したが成果指標による実績値については上回っている。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	自己分析： 前年度と比較し交付件数については減少したが成果指標による実績値については、昨年度と同様大変良い、良いの回答となっている。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	自己分析： 前年度と比較し交付件数については減少したが成果指標による実績値については、昨年度と同様大変良い、良いの回答となっている。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	自己分析： 前年度と比較し交付件数については減少したが成果指標による実績値については、昨年度と同様大変良い、良いの回答となっている。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	自己分析： 前年度と比較し交付件数については減少したが成果指標による実績値については、昨年度と同様大変良い、良いの回答となっている。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	自己分析： 前年度と比較し交付件数については減少したが成果指標による実績値については、昨年度と同様大変良い、良いの回答となっている。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	自己分析： 前年度と比較し交付件数については減少したが成果指標による実績値については、昨年度と同様大変良い、良いの回答となっている。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	自己分析： 前年度と比較し交付件数については減少したが成果指標による実績値については、昨年度と同様大変良い、良いの回答となっている。安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保する効果があったと考えられる。	判断理由： 地域コミュニティ形成の場である町内会館の建設等に対し補助することは町内会活動の支援につながる事業であり、町内会が必要に応じて補助申請を行うことから、実績としては一定の効果があったものと考えられ満足度についても評価が「大変良い・良いの回答を得た割合が増えているため」「良好である」と判断した。	
	今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続							
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 事業の目的や対象について理解が進み、一定の効果があったものと考えられるため、安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保していくため「現状のまま継続」とした。				R8： 事業の目的や対象について理解が進み、一定の効果があったものと考えられるため、安心・安全に地域住民のコミュニティ形成を図る場としての町内会館を確保していくため「現状のまま継続」とした。				R10：						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：町内会連合会事業への補助額	指標の求め方：町内会連合会事業への補助額
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：町内会加入世帯数	指標の求め方：町内会加入世帯数（計画値は人口ビジョンによる減少率を反映）

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合	
事業 評価	指標	活動指標1 (単位/千円)	計画値 528	実績値 528	528	528	528	528	528	528	528	528	528	528		
		成果指標1 (単位/人)	計画値 6,262	実績値 6,194	6,186	6,112	6,039	5,966	5,885	5,804	5,725	5,646	5,569			
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている			達成されている							
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっていない			変わらない							
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				上がっていない			上がっていない							
		総合評価				普通である			普通である							
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 補助金の交付により連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。成果指標については、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、達しなかった。	自己分析： 補助金の交付により連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。成果指標については、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、計画値に達しなかった。	自己分析： 補助金の交付により連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。成果指標については、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、計画値に達しなかった。	判断理由： 補助金の計画値どおりの交付により、連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。が、成果指標である町内会加入世帯数が、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、達成度については若干低い評価となるため「普通である」と判断した。	自己分析： 補助金の交付により連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。成果指標については、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、計画値に達しなかった。	自己分析： 補助金の交付により連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。成果指標については、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、計画値に達しなかった。	自己分析： 補助金の交付により連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。成果指標については、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、計画値に達しなかった。	判断理由： 補助金の計画値どおりの交付により、連合会は健全に運営されており、行政と町内会の連携も図られている。が、成果指標である町内会加入世帯数が、砂川市の人口減少が人口ビジョンを上回るスピードで進んでいることもあり、達成度については若干低い評価となるため「普通である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
	今後の方向性					現状のまま継続			現状のまま継続							
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 補助金の交付により町内会連合会の実施する事業が円滑に行われ、地域に暮らす人々とのつながりにより成り立つ地域コミュニティの最も基礎的な組織である町内会の活動の活性化を図ることができると考えるため「現状のまま継続」とした。 今後は、町内会の取り組みを広く知っていただき、多くの方が積極的に参加できるような体制をつくるため、市ホームページ、チラシの配布などにより町内会活動を紹介し加入促進を図っていきたい。				R8： 補助金の交付により町内会連合会の実施する事業が円滑に行われ、地域に暮らす人々とのつながりにより成り立つ地域コミュニティの最も基礎的な組織である町内会の活動の活性化を図ることができると考えるため「現状のまま継続」とした。 今後は、町内会の取り組みを広く知っていただき、多くの方が積極的に参加できるような体制をつくるため、市ホームページ、チラシの配布などにより町内会活動を紹介し加入促進を図っていきたい。				R10：					

【PLAN】

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

【DO】

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画	
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 計		
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	
		予算計上額				0				0					0	
		実績額				0				0					0	
	道費	計画額				0				0					0	
		予算計上額				0				0					0	
		実績額				0				0					0	
	地方債	計画額				0				0					0	
		予算計上額				0				0					0	
		実績額				0				0					0	
	その他	計画額				0				0					0	
		予算計上額				0				0					0	
		実績額				0				0					0	
	一般財源	計画額	4,317,000	4,317,000	4,317,000	12,951,000	4,444,000	4,444,000	4,444,000	13,332,000	4,444,000	4,444,000	4,444,000	4,444,000	17,776,000	44,059,000
		予算計上額	4,317,000	4,474,000	4,464,000	13,255,000	4,444,000	4,454,000	3,996,000	12,894,000					0	26,149,000
		実績額	3,387,900	3,489,700	3,529,600	10,407,200	3,592,000	3,574,200		7,166,200					0	17,573,400
	事業費合計	計画額	4,317,000	4,317,000	4,317,000	12,951,000	4,444,000	4,444,000	4,444,000	13,332,000	4,444,000	4,444,000	4,444,000	4,444,000	17,776,000	44,059,000
		予算計上額	4,317,000	4,474,000	4,464,000	13,255,000	4,444,000	4,454,000	3,996,000	12,894,000	0	0	0	0	0	26,149,000
		実績額	3,387,900	3,489,700	3,529,600	10,407,200	3,592,000	3,574,200	0	7,166,200	0	0	0	0	0	17,573,400
	事業費予算の内容		基準割 1,490千円 事業割 2,787千円 自主防災組織設立支援割 40千円	基準割 1,475千円 事業割 2,959千円 自主防災組織設立支援割 40千円	基準割 1,465千円 事業割 2,959千円 自主防災組織設立支援割 40千円		基準割 1,445千円 事業割 2,959千円 自主防災組織設立支援割 40千円	基準割 1,435千円 事業割 2,959千円 自主防災組織設立支援割 60千円	基準割 1,410千円 事業割 2,546千円 自主防災組織設立支援割 40千円							
	前年度予算との比較 (増減理由)		186千円の減。 新型コロナウイルス感染症の影響による活動減を反映させたため。	157千円の増。 新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限が軽減されることを見込んだため。	10千円の減。 基準割の減による。		20千円の減。 基準割の減による。	10千円の増。 自主防災設立支援割の増	458千円の減。 基準割及び自主防災設立支援割の減による。							
実績との比較 (増減理由)		新型コロナウイルス感染症の影響で事業割の実績額が減。6町内会が不交付。	新型コロナウイルス感染症の影響で事業割の実績額が減。4町内会が不交付。	事業割の実績額が減。5町内会が不交付。		事業割の実績額が減。5町内会が不交付。	事業割の実績額が減。5町内会が不交付。									

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：補助金額	指標の求め方：決定した事業への補助金支出額
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：制度利用率	指標の求め方：制度を活用して地域コミュニティの強化・充実を図っている町内会数/全町内会数

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 総合
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
事業 評価 内容	指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 4,317	実績値 3,388	4,317 3,530		4,317 3,592	4,317 3,575	4,317		4,317	4,317	4,317	4,317		
		成果指標 1 (単位/%)	計画値 90	実績値 93	90 94		90 94	90 94	90		90	90	90	90		
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている				ほぼ達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている				変わらない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている				変わらない						
		総合評価				良好である				良好である						
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業を中止した町内会が多かったことに加え、予算額には若干の余裕を設定しているため、活動指標については達していないが、本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されている。また、各会長、役員から感想を聴取しているが、概ね好評を得ている。	自己分析： 新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業を中止した町内会が多かったことに加え、予算額には若干の余裕を設定しているため、活動指標については達していないが、本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されている。また、負担の軽減と利便性向上のためオンラインでの申請を開始し、申請32件、実績報告16件の電子申請があった。	自己分析： 新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた事業を再開する町内会が少なかったことに加え、予算額には若干の余裕を設定しているため、活動指標については達していないが、本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されている。今後はHP掲載や町内会回覧での活動紹介の件数を増やしていき、町内会事業の促進を図る。	判断理由： 活動指標については、予算額に若干の余裕を設定していることから達していないが、本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されている。また、各会長、役員から感想を聴取しているが、概ね好評を得ているため「良好である」と判断した。	自己分析： 活動指標については達していないが本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されているため効果があったと考えられる。	自己分析： 活動指標については達していないが本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されているため効果があったと考えられる。	自己分析： 活動指標については達していないが本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されているため効果があったと考えられる。	判断理由： 活動指標については、予算額に若干の余裕を設定していることから達していないが、本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されている。また、各会長、役員から感想を聴取しているが、概ね好評を得ているため「良好である」と判断した。	自己分析： 活動指標については達していないが本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されているため効果があったと考えられる。	自己分析： 活動指標については達していないが本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されているため効果があったと考えられる。	自己分析： 活動指標については達していないが本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されているため効果があったと考えられる。	自己分析： 活動指標については達していないが本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されているため効果があったと考えられる。	判断理由： 活動指標については、予算額に若干の余裕を設定していることから達していないが、本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しており、活動実体のほぼ無い町内会を除き活用されている。また、各会長、役員から感想を聴取しているが、概ね好評を得ているため「良好である」と判断した。	
		今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しているが、全町内会に活用されることを達成するため継続していくこととした。また、町内会では高齢化や担い手不足などの課題を抱えており、行政としては地域コミュニティの維持のために必要な支援策について、今後も検討していく必要があるため「現状のまま継続」とした。				R8： 本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しているが、全町内会に活用されることを達成するため継続していくこととした。また、町内会では高齢化や担い手不足などの課題を抱えており、行政としては地域コミュニティの維持のために必要な支援策について、今後も検討していく必要があるため「現状のまま継続」とした。				R10： 本制度の本来の目的については相当に浸透、普及が実現しているが、全町内会に活用されることを達成するため継続していくこととした。また、町内会では高齢化や担い手不足などの課題を抱えており、行政としては地域コミュニティの維持のために必要な支援策について、今後も検討していく必要があるため「現状のまま継続」とした。					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：委託料	指標の求め方：委託料合計
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：コミュニティセンター利用者数	指標の求め方：年間延べ利用者数

			第 1 次実施 3 カ年計画				第 2 次実施 3 カ年計画				第 3 次実施 4 カ年計画					第 7 期 総 合 計 画 計
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 カ年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第 10 年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	
事業 業 評 価	指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 4,408	3,809	3,809		4,536	4,536	4,536		4,536	4,536	4,536	4,536		
			実績値 4,394	15,416	20,746		13,960	6,585								
		成果指標 1 (単位/人)	計画値 22,165	22,165	22,165		22,165	22,165	22,165		22,165	22,165	22,165	22,165		
			実績値 8,876	13,462	17,866		18,453	19,413								
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている				ほぼ達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				あまり上がっていない				あまり上がっていない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				あまり上がっていない				あまり上がっていない						
		総合評価				普通である				普通である						
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 成果指標である年間延べ利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により全体として減少傾向にあり、主に北と南コミュニティセンターが大幅に減少した。今後も施設の周知を継続し、利用者数の維持・増加に努めたい。	自己分析： 成果指標である年間延べ利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し増加傾向にある。今後も施設の周知を継続し、利用者数の維持・増加に努めたい。	自己分析： 成果指標である年間延べ利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し増加傾向にある。今後も施設の周知を継続し、利用者数の維持・増加に努めたい。	判断理由： 事業の達成度は一定の評価ができるが、成果指標である利用者数が計画値に満たないことから、総合評価は「普通である」とした。	自己分析： 成果指標である年間延べ利用者数は増加傾向にある。今後も施設の周知を継続し、利用者数の維持・増加に努めたい。	自己分析： 成果指標である年間延べ利用者数は増加傾向にある。今後も施設の周知を継続し、利用者数の維持・増加に努めたい。	自己分析： 成果指標である年間延べ利用者数は増加傾向にある。今後も施設の周知を継続し、利用者数の維持・増加に努めたい。	判断理由： 事業の達成度は一定の評価ができるが、成果指標である利用者数が計画値に満たないことなどから、総合評価は「普通である」とした。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 引き続き事業を継続し、地域住民の生活、文化および教養の向上並びに健康の増進を図るため、効率的な運営と利用者数が増加するよう努める必要がある。 管理委託費については、原油価格や物価高騰による燃料費や光熱水費の増加、最低賃金上昇や人手不足による管理員報酬の見直しが必要となっており全体で増加傾向にある。				R8： 引き続き事業を継続し、地域住民の生活、文化および教養の向上並びに健康の増進を図るため、効率的な運営と利用者数が増加するよう努める必要がある。 管理委託費については、原油価格や物価高騰による燃料費や光熱水費の増加、最低賃金上昇や人手不足による管理員報酬の見直しが必要となっており全体で増加傾向にある。				R10：					